

ボランティアシンポジウム 共に生きる喜び —26回のワークキャンプを通して見えてくる新しい世界—

本学ワークキャンプは1993年度に第1回目を開催し、2018年度まで連続して第26回目まで無事に終了することができました。その間の延べ参加人数は約440名。本プログラムは「人々との心の絆の確認、参加者同志の一緒に汗を流しての協働、こうした体験学習のプロセスを通して、それぞれが自己への振り返りと気づきを深め、ただ単に知育のみに偏ることなく、キリスト教の精神に則り、新島が訴えた『良心を手腕に運用する』人材の育成を目指す」ものでした。（第1回ワークキャンプ時の宣言より）

コロナ禍に伴う社会の変容、少子高齢化や多様化が進む中、Vision150にも掲げました「自由かつ主体的に他者への愛を実践できる女性、社会において『地の塩、世の光』となりうる女性がリーダーシップを発揮して社会を改良する」人物を育むために、いまこそワークキャンプを振り返り、今後のボランティア活動のありかたを模索する、標記シンポジウムを下記の通り開催します。

記

日 程：2022年11月19日（土） 13：00～14：30

場 所：同志社女子大学 今出川キャンパス 楽真館4階R401

対 象：在学生・卒業生・一般・教職員

内 容：基調講演

原 慶子 社会福祉法人新生会理事長

講演テーマ

「ケアは愛である—21世紀—人間福祉の座標軸」

パネルディスカッション

原 慶子 社会福祉法人新生会理事長

津村 信子 本学国際課職員

（第1回1993年参加、1997年学芸学部英語英文学科卒）

神戸 彩香 南山大学附属小学校養護教諭

（第14回2006年参加、2009年生活科学部人間生活学科卒）

鶴屋 玲花 株式会社ベネッセスタイルケア（有料老人ホーム）
サービススタッフ

（第25回2017年参加、2018年現代社会学部社会システム学科卒）

大倉 真人 ボランティア活動支援センター長、
現代社会学部社会システム学科教授

以 上